

トピックス

屋内・屋外消火栓取扱競練会への参加
矢崎化工株式会社

矢崎化工株式会社は昭和 28 年にプラスチック製品の開発から製造・販売までを一貫して手掛ける会社として設立し、その後物流機器・福祉介護製品等へと業務を拡大し、平成 25 年に創業 60 周年を迎えました。

犬山工場は昭和 43 年に豊田工場の業務を引き継ぐ形で設立しました。国内に当社の生産拠点は 4 箇所ありますが犬山工場は自動車部品に特化した工場となっており、当社で取り扱う自動車部品の全てを生産しています。創業以来培ってきたプラスチック成形技術を活かし、ドア・シート周りを中心とするプラスチック部品の開発・設計・製造工場です。

プラスチック製品を取り扱う企業として火災が発生した場合の被害の大きさを考え、防火活動に取り組んでいます。社員の教育・訓練の位置づけで犬山市危険物安全協会、犬山市消防本部で共催されている屋内・屋外消火栓取扱競練会へ参加しています。

この競練会とは、犬山市が行っていた消火器による訓練から発展して消火栓設備を利用した消火訓練となったものであり近隣の企業など約 20 団体が参加する犬山市独自の活動です。競練内容は設置された屋内・屋外消火栓設備を使用し、ホースの延長、標的への放水、ホースの格納までの安全と操作技術を競うものです。

1984年（昭和59年）よりスタートし今年度で32回目の開催となりますが、矢崎化工(株)犬山工場でも1回目より毎回、参加させて頂き数多くの従業員が消火栓取扱いを出来るように成りました。

夜間の人が少ない時に火災が発生した場合も想定し、交替勤務者と若手を主体に参加者を選出していましたが、初めての試みとして女性だけのチームも参加しました。大阪工場（高槻市）からの1チームも加え、屋外消火栓1チーム、屋内消火栓2チームが優勝目指し訓練を繰り返し競練会に臨み、屋内消火栓で女性チームが3位入賞を果たしました。他の2チームも6位入賞と優勝には手が届きませんでした。優秀な結果を残すことが出来ました。



表彰式の写真です。
今後も継続参加を行い防火防災活動に努めていきます。